

理科部門

☆総評☆

今年は、千二百点を超える多くの作品が寄せられ、全体的に生物の長期観察や根強い実験が多く、研究方法も工夫され、力作ぞろいでした。ただ、写真にたよった観察記録や実験後の考察が充分になされていないものもあり、自分の力で絵をかいてみる、考察してみるといった姿勢がほしかったと思います。

文部大臣奨励賞

「アマガエルの研究」

体色変化の不思議

東京都東京学芸大学
教育学部附属小金井小学校

四年 飯沼 慶晃

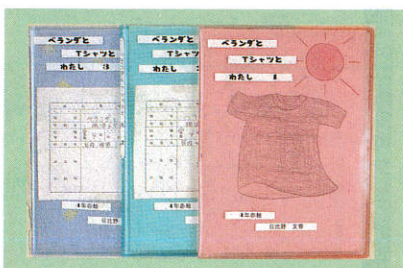


▲アマガエルの体色変化について多方面から意欲的に調べた力作です。研究計画をしっかり立て、観察だけでなく体色変化を実験的にも研究しています。自分なりにいろいろと考え、試行錯誤しながら結論をみつけようとする根強い姿勢が高く評価されました。



優秀賞

「ベランダとTシャツとわたし」
岐阜県瑞浪市立瑞浪小4年
日比野文香



▲「白いTシャツと黒いTシャツはどちらがはやくかわくのだろう」という身近な疑問を学習とつながって考えた研究です。予想→実験→考察の流れをしっかり立てながら、結果を図示化するなど、まとめ方が優れています。



「アサガオ大研究」
神奈川県平塚市立みずほ小六年
市川明佳

▲いろいろなアサガオの育ち方について、発芽の様子、根の伸び方、開花の様子、おしべめしべの伸び方など、多角的に調べています。アサガオの成長過程を詳しくとらえ、分かりやすくまとめています。

「陸産貝類カタツムリ」
東京都星美学園小3年
橋本和明

▲4年間にもわたるカタツムリの飼育観察です。カタツムリの生態を、本で調べたことと実際のカタツムリとを比較して観察するなど、自分なりの工夫が表われ、生き物への興味・関心がよく伝わっています。

その他の受賞作品

◆優良賞 「私の体温」(瑞浪市立明世小四年) 伊藤祐子 「かまきりの観きつ」(鹿児島市立西原小四年) 恒吉彩夏 「日光は動物に必要か(ヒヨコからニワトリまで)」(郡山市立中野小五年) 増子大樹 「かいわれ大根から見る生活排水」(美濃市立中野小六年) 長瀬志帆子 「髪の毛の研究 2年間の歩み」(東京学芸大学附属竹早小三年) 新井志穂

◆佳作 「わたしのずかん ルルの大ぼうけん」(瑞浪市立瑞浪小三年) 安藤美穂 「強い空気さん」(瑞浪市立瑞浪小三年) 加藤まなみ 「せせらぎたんけん」(真奈川・叶津川) 「ひびけ! 夕くらのラッパ君」(瑞浪市立土岐小四年) 日比野雅崇 「カビの研究」(瑞浪市立土岐小四年) 日比野佑紀 「やってみよう! 草木染め」(瑞浪市立瑞浪小五年) 水野香葉 「蝶とせみの変態調べ」(茅ヶ崎市立梅田小六年) 安武陽子 「地球がとける? すっぱい雨 酸性雨」(瑞浪市立瑞浪小六年) 小島あさみ 「砂漠の緑化をめざして 土の種類と植物の成長の研究」(久瀬村立久瀬小二年) 中島和裕 「発声と発声器官について」(東京学芸大学附属竹早小三年) 八木健太郎